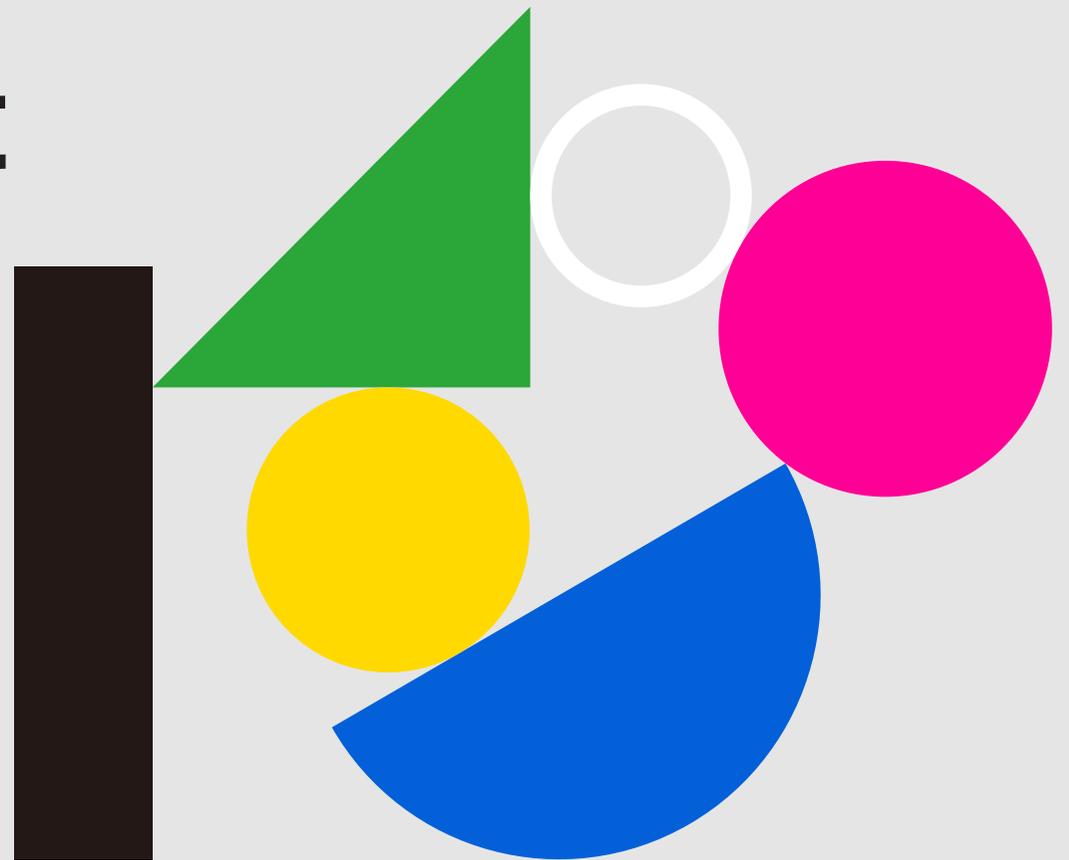
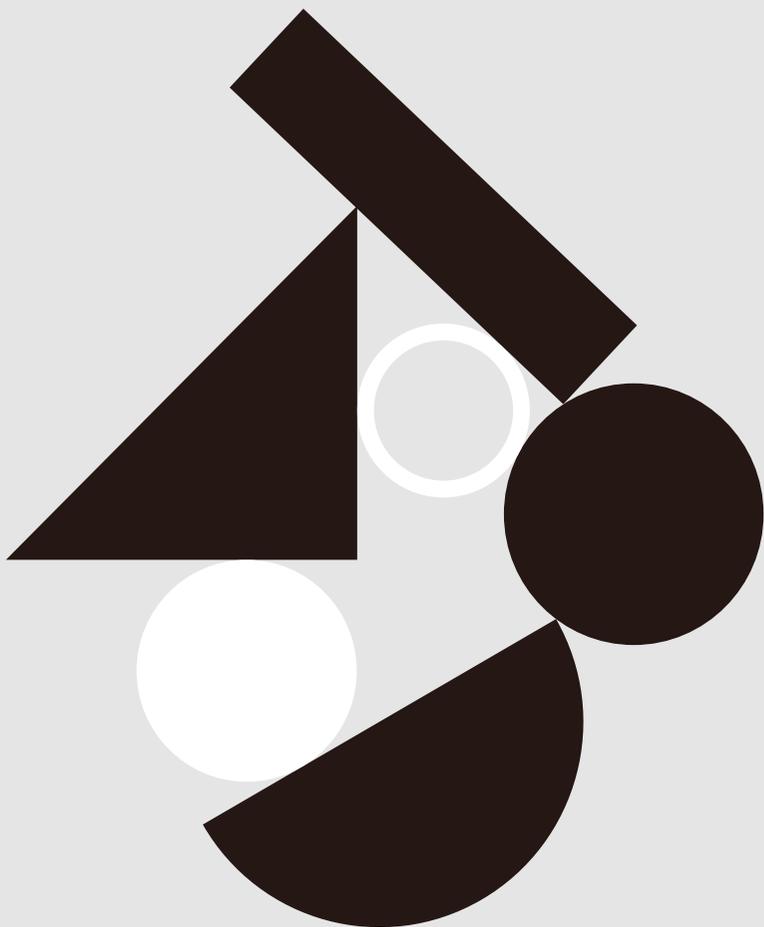


札幌文化芸術交流センター SCARTS 活動記録

SCARTS 2022 Annual Report





発行にあたって

札幌文化芸術交流センター SCARTS^{スカーツ}は、2018年10月、「ひと・もの・こと」をつなぎ、文化芸術活動を支えるアートセンターとして、札幌市の中心部にオープンしました。「一人ひとりの創造性をささえる」、「あたらしい表現の可能性をひらく」、「すべての人に開かれたアートとの出会いをつくる」という3つのミッションのもと、さまざまな事業を展開しています。

『SCARTS 2022 Annual Report』は、令和4年度(2022年4月~2023年3月)の活動をまとめた記録集です。市民の文化芸術活動への支援を軸に据えた SCARTS の多様な取り組みを多くの方に知っていただき、新たな創造へとつなげることを目指して制作しました。随所にテキストや動画のアーカイブコンテンツへのリンクを掲載し、より深い情報にアクセスすることが可能となっています。

この年は、人の移動や行動に対する制限が緩和され、文化芸術活動も活気を取り戻してきました。対面での事業実施が再び可能となった状況の中で、SCARTS のこれまでを振り返り、これからを考える展示やオープンミーティングを実施し、地域のアートセンターとしてさまざまな「交流」の機会をつくることや、市民と共に考えることの大切さに立ち返る好機となりました。

SCARTSの活動に対し、多大なるご支援、ご協力を賜りました関係各位に厚く御礼申し上げます。

札幌文化芸術交流センター SCARTS

目次

- P2 発行にあたって
- P4 SCARTSについて

SCARTS活動支援

文化芸術活動を支援するさまざまなサービスや機能

- P6 インフォメーションコーナー
相談サービス
文化芸術に関する情報発信
施設利用サポート
調査研究
- P7 SCARTS 企画公募
 - ・ SCARTS 企画公募 2023
 - ・ 令和4(2022)年度事業実施
 - あたらしい民話 presents さっぽろの民話
 - North PRINT—北海道の現代版画—
- P10 SCARTS 助成金
 - ・ 令和5(2023)年度助成対象活動募集
 - ・ 令和4(2022)年度助成対象事業
- P11 アートコミュニケーション事業
 - ・ SCARTSアートコミュニケーター「ひらく」
 - ・ 人とアートをつなぐ SCARTSアートコミュニケーター「ひらく」をふりかえる展

SCARTS主催のイベント・プロジェクト

SCARTSが主催する文化芸術イベントやプロジェクト

- P22 ++A&T—SCARTS ART&TECHNOLOGY Project—
 - ・ ++A&T04 CoSTEP× SCARTS×札幌の高校生たち「地球をかたづける」ワークショップ成果展 - クロージングトーク
- P23 メディアアーツシリーズ
 - ・ SCARTS× SIAFラボ 冬の展覧会 2023 「雪にまつわるエトセトラ」
 - ・ SCARTS× CoSTEP アート&サイエンスワークショップ 「漂う環境」
 - ・ Side Effects 2022-2024
 - IEIE, Reflected: Phase1
 - IEIE, Reflected: Phase2
- P28 PLAZA FESTIVAL 2022
 - ・ あらためまして、SCARTSです。
 - ドキュメント展 2018-2021
 - オープンミーティング
 - ・ MORIHICO. Marché de GRENIER (マルシェ・ドゥ・グルニエ) × プラザマルシェ
 - ・ 札幌芸術の森クラフトキャラバン ワークショップ 「街、森、クラフト」
- P30 西2丁目地下歩道映像制作プロジェクト
 - ・ 小田香《Underground》上映開始
 - ・ 小田香《Underground》スクリーン上映&トーク

SCARTS連携事業

さまざまな文化施設や組織と連携して行うイベントなど

- P32 Marché de GRENIER(マルシェ・ドゥ・グルニエ)
- P33 彫美連続講座
版画工房開館 30周年関連事業
- P34 大学連携コンサート
 - ・ 北海道教育大学岩見沢校「クラシックとジャズの出会いはーフランス編」
 - ・ 札幌大谷大学「ヴァイオリンとヴィオラの響き ~時代と楽器を超える調べ~」
- P37 SAPPOROぶんだんきょうフェスティバル
NoMaps
アートボランティアウィーク
- P38 さっぽろアートステージ
- P40 さっぽろ天神山アートスタジオ
- P41 札幌市図書・情報館セミナー



SCARTSについて

札幌のひと・もの・ことをつなぎ、
文化芸術活動を支えます。

さまざまな施設や組織と連携して、展覧会、公演、コンサート、ワークショップ、レクチャーなど多様な事業を展開するほか、SCARTSで開催する企画の公募、文化芸術活動に関する相談サービスや情報提供、施設利用のサポート、助成金の交付などを行っています。SCARTSは、多彩なアートを届け、一人ひとりのクリエイティブな活動に寄り添いながら、札幌をもっと輝く街にすることを目指し、3つのミッションを横断しながら事業を展開しています。

MISSION 1

あたらしい表現の可能性をひらく

今を生きるアーティストの手によって創作され、発信される表現には、現在の社会状況に対する問題意識やそれへの応答が反映されています。SCARTSでは、アーティストをはじめ研究機関や企業などと共に、アイデアや知識、技術を持ち寄り、実験を重ねながら、今この場所だからこそ生まれる表現を探求してきました。ここで生まれた表現やそのプロセスがそれを受け取る人々への刺激となり、また新しい創作活動へとつながっていきます。

MISSION 2

すべての人に開かれたアートとの出会いをつくる

展覧会やワークショップ、コンサートやトークなど、誰もが気軽に文化芸術にふれられるよう、さまざまな企画を行っています。複合施設の中にあり、いろいろな目的を持った人々が交差する場所だからこそ、思いがけない出会いをつくり出すことができると考えています。表現は人のこころを動かし、エネルギーとなって、また次の創作や活動に結びついていきます。何気なく足を踏み入れてみると魅力的なものに出会える、そんなアートへの入口をつくります。

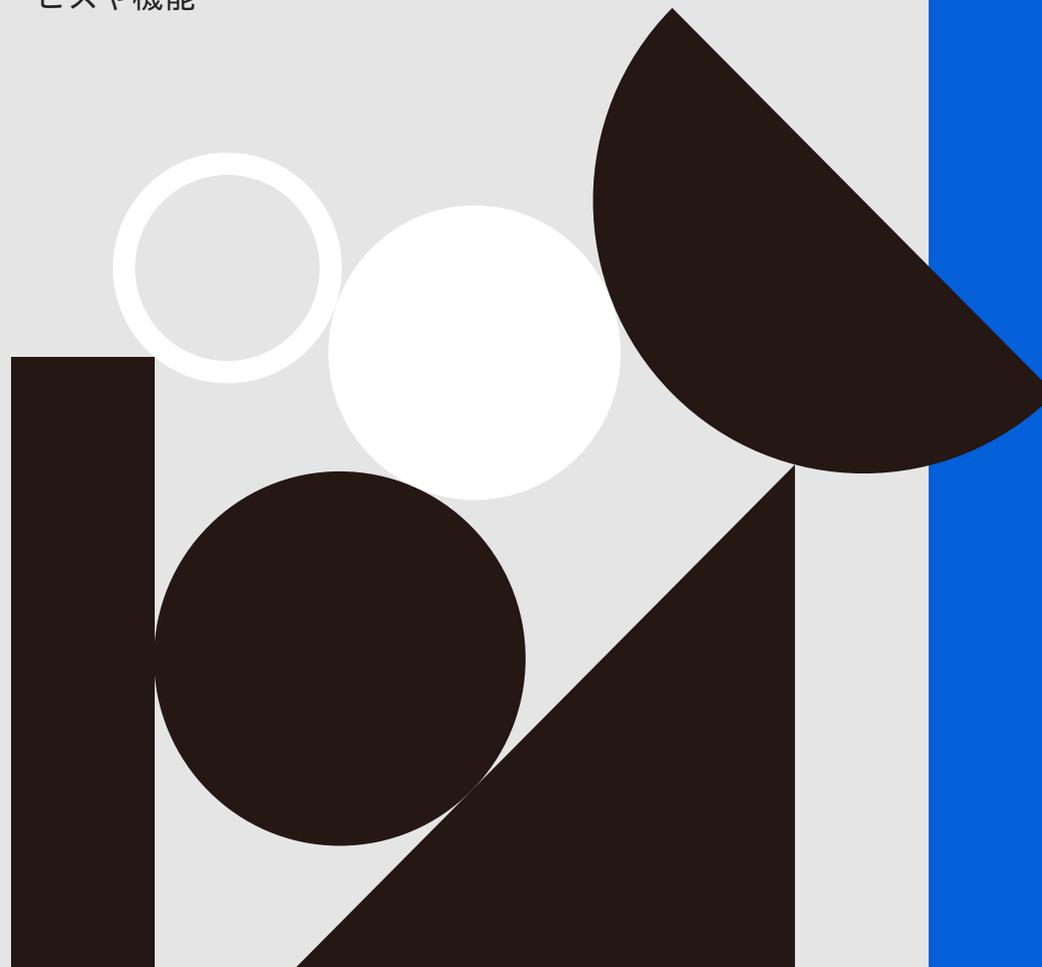
MISSION 3

一人ひとりの創造性をささえる

文化芸術活動に関する相談への対応や情報提供、施設を利用される方への技術的なサポート、アートコミュニケーターを介した創造的なコミュニケーションの場づくりなどを通して、さまざまな人が文化芸術に関わり、活動するための支援を行っています。すでに活躍しているアーティストや企画者はもちろん、これから何かを始めようと考えている人や、参加者として楽しみたい人など、文化芸術に関わるすべての人と共に学びながら、一人ひとりの創造性を支えます。

SCARTS活動支援

文化芸術活動を支援するさまざまなサービスや機能



インフォメーションコーナー

窓口スタッフが常駐し、施設利用に関するお問い合わせ対応、札幌市内を中心とした文化芸術イベントのチラシの受け取りや相談サービスの一次対応を行っています。また、全国の公募・助成金に関する情報も収集、提供しています。

チラシ持ち込み件数：3,222件



インフォメーションコーナー
https://www.sapporo-community-plaza.jp/scarts_support_information.html

相談サービス

札幌市内の文化芸術活動の活性化やサポートの一環として、対面またはオンライン、メールにて、アーティストや文化団体等、文化芸術活動に携わる方からのお問い合わせ（活動場所、広報手段、助成金等）への情報提供やアドバイスを行っています。日々の活動における困りごとの解決に向けて、スタッフが一緒に考えます。

相談件数：96件



相談サービス
https://www.sapporo-community-plaza.jp/scarts_service.html

文化芸術に関する情報発信

札幌市内を中心とした文化芸術イベントのチラシやカウンタースタッフが収集した全国の公募・助成金情報を「インフォメーションコーナー」に配架しています。また、「大通情報ステーション」から提供される文化芸術情報を SCARTSウェブサイト内「さっぽろ Art & Culture インフォメーション」で公開しています。そのほか、作品発表やイベント等に利用できる札幌市内の文化施設・アートのスペース、公募・助成金やアートボランティアについてなど、文化芸術活動に役立つ情報を発信しています。



文化芸術に関する情報発信
https://www.sapporo-community-plaza.jp/scarts_public_culture.html

施設利用サポート

札幌市民交流プラザ内の SCARTSコート、SCARTSスタジオ、SCARTSモールの施設利用に SCARTSのスタッフが対応しています。会場の設備・機材の取り扱い、展示設営に精通するテクニカルスタッフが常駐し、技術面でのアドバイスやサポートを行っています。

調査研究

札幌市の文化芸術活動の発展に資するため、全国の動向や先進的な文化芸術活動、国内外の文化芸術活動支援などに関する基礎的な調査・研究を行っています。



SCARTS企画公募

令和4(2022)年度事業実施

前年度に採択された2事業を実施しました。

2023年2月18日(土)ー26日(日) 10:00~21:00

会場 SCARTSスタジオ

あたらしい民話 presents さっぽろの民話

札幌に住むさまざまな人にインタビューを行い、集めたエピソードを「民話」として言語化していくプロジェクト「あたらしい民話」の展覧会。テキストや朗読音声、映像などの作品を通して「あたらしい民話」を体験できる展示のほか、札幌で活躍する俳優や音楽家を日替わりでゲストに招いた民話の読み語りライブや、民話をつくるワークショップ、オリジナルグッズの販売も行いました。

入場者：514名

撮影：山岸靖司



〈関連イベント〉

2023年2月19日(日)、23日(木・祝)、25日(土)、26日(日)
10:00~12:00 (23日のみ16:00~18:00)

さっぽろのあたらしい民話をつくろう ワークショップ SCARTS編

入場者：5名

〈関連イベント〉

さっぽろの民話 読み語りライブ

2023年2月18日(土) 19:30~20:00

話し手：石橋玲
音楽：留美(F.H.C)／ギター・その他
入場者：13名

2023年2月19日(日) 19:30~20:00

話し手：内崎帆乃香 (ELEVEN NINES)
音楽：横山祐太／トランペット
入場者：5名

2023年2月20日(月) 19:30~20:00

話し手：トマト(劇団風蝕異人街)
音楽：手島慶子／パーカッション
入場者：16名

2023年2月21日(火) 19:30~20:00

話し手：飛世早哉香 (in the Box / OrgofA)
音楽：嵯峨治彦／馬頭琴
入場者：11名

2023年2月23日(木・祝) 10:00~10:30

話し手：立川佳吾(トランク機械シアター)
音楽：コニシダイスケ(ししし)／民族楽器
入場者：14名

2023年2月24日(金) 19:30~20:00

話し手：棚田満(劇団怪獣無法地帯)
音楽：小野健悟／サクソ
入場者：16名

2023年2月25日(土) 19:30~20:00

話し手：ナガムツ
音楽：新藤理(フリースクール札幌自由が丘学園)
／鍵盤ハーモニカ
入場者：17名

2023年2月26日(日) 19:30~20:00

話し手：柴田智之 (Atelier 柴田山)
音楽：鼓代弥生／波紋音
入場者：22名

主催：あたらしい民話事務局、札幌文化芸術交流センター SCARTS(札幌市芸術文化財団)
助成：Sapporo Art Index(令和4年度札幌市文化芸術創造活動支援事業)
協力：ICC(インタークロス・クリエイティブ・センター)、一般社団法人AISプランニング
アドバイザー：カジタシノブ

SCARTS企画公募

令和4(2022)年度事業実施

2023年3月8日(水)～16日(木) 11:00～19:00 ※最終日は16:00まで

会場 SCARTSコート、SCARTSモールA,B

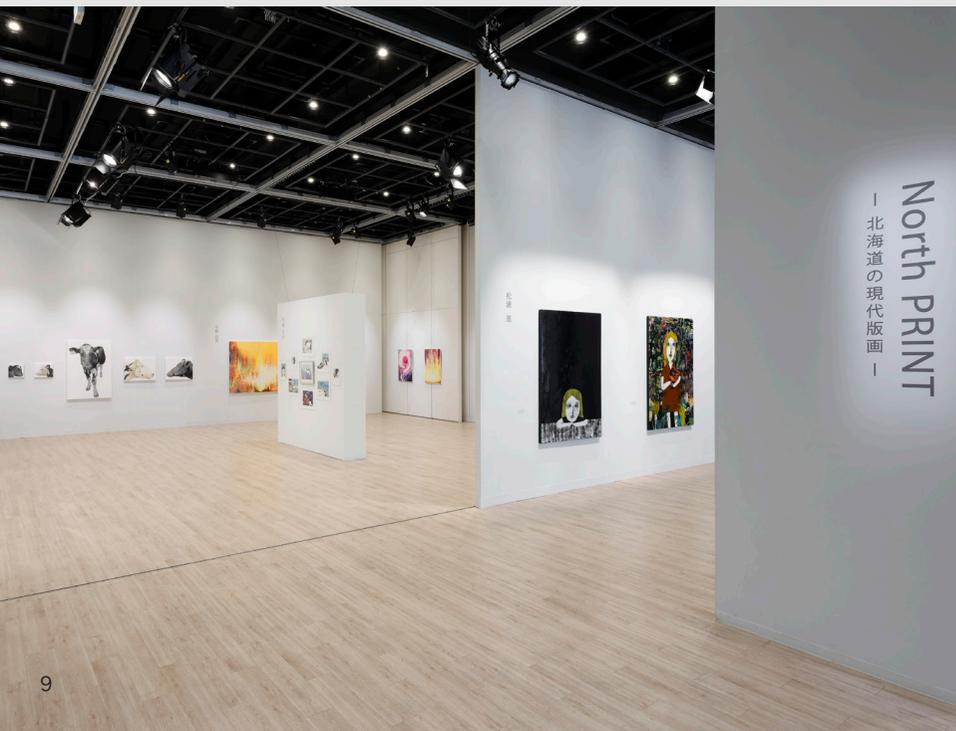
North PRINTー北海道の現代版画ー

近年、多様化した美術表現の中において進化し続ける版画芸術の認知向上と文化的復興を図り、作品発表の場を札幌で作り育てることを目的に、北海道にゆかりのある現代版画作家8人による作品展を開催しました。

アーティスト：風間雄飛、佐藤文音、富田美穂、鳴海伸一、平野有花、松浦進、箕輪千絵子、吉田潤

入場者：3,564名

撮影：山岸靖司



〈関連イベント〉

2023年3月12日(日) 13:00～16:00

会場 SCARTSスタジオ

ワークショップ
「銅版画メゾチント体験」

本格的なプレス機を用いて、漆黑の中に画面が浮かび上がる銅版画技法「メゾチント」を体験しました。

参加者：13名

2023年3月12日(日) 11:00～15:00

会場 SCARTSスタジオ

ワークショップ
「シルクスクリーンで巾着プリント」

シルクスクリーンと型紙を使って、カラフルな自分だけのオリジナル巾着を制作しました。

参加者：14名



主催：North PRINT 実行委員会、札幌文化芸術交流センター SCARTS (札幌市芸術文化財団)
協力：大丸藤井セントラル、大野愛莉純

SCARTS助成金

札幌文化芸術交流センター SCARTS文化芸術振興助成金交付事業

札幌市を拠点に文化芸術活動を行う団体又は個人による、優れた活動に対してその費用の一部を助成し、札幌市における文化芸術振興やさらなる発展につなげることを目的に実施しています。助成金は札幌市の文化芸術振興に賛同する方々からの寄付金を基に創設された「文化芸術振興基金」の運用益を活用しています。

令和4年度は、翌年度の助成対象活動の募集と、当年度の助成対象事業の活動報告会を実施しました。

令和5(2023)年度助成対象活動募集

新たな創造活動の可能性を切り拓く、独創性及び革新性に優れた文化芸術活動を対象とした「特別助成事業」と、地域における実演芸術の発表や展覧会など多様な文化芸術活動を対象とした「一般助成事業」の2つの区分で募集を行いました。

申請受付期間：2022年12月1日(木)～2023年1月10日(火)

説明会：2022年11月26日(金) 14:00～15:00、27日(日) 10:00～11:00

申請件数：特別助成事業 19件、一般助成事業 96件

採択件数：特別助成事業 1件、一般助成事業 20件

令和4(2022)年度助成対象事業

2023年3月26日(日) 14:00～17:30

会場 SCARTSコート

令和4(2022)年度助成対象事業 活動報告会

発表者：令和4(2022)年度助成対象事業 14件

参加者：37名

活動報告会の様子



〈令和4(2022)年度助成対象事業一覧〉

特別助成事業 (50音順)

申請事業名	申請者及び団体名
祈りの北方圏～サンドアート・ダンス・音楽～	北方諸民族文化交流実行委員会
なえぼな一と／NAEBONART2022	特定非営利活動法人S-AIR

一般助成事業 (50音順)

申請事業名	申請者及び団体名
HDP DANCE PREMIUM 2022	一般社団法人北海道ダンスプロジェクト
クリスマスのふしぎなほこ	根深夏
札幌学生対校演劇祭	札幌学生対校演劇祭実行委員会
札幌の木、北海道の椅子展'21-'22	Sapporo Association of Woodworkers (SAW)
SAPPORO風呂敷フェスティバル・風呂敷講演会&風呂敷講座	一般社団法人日本風呂敷文化協会
札幌洋舞連盟第62回子ども舞踊祭	札幌洋舞連盟
第43回市民バンドフェスティバル in Sapporo	札幌市民バンド連絡協議会
聖と俗の音の旅III Rosa das Rosas	中村会子
トランク機械シアター人形劇詰め合わせ	トランク機械シアター
羽ばたけ！北海道イラスト大賞展	北海道イラストレーターズクラブアルファ
びょういんあーとぶるじえくと	びょういんあーとぶるじえくと
ラボチプロデュースのと☆えれき二人芝居第三弾	ラボチ

アートコミュニケーション事業

アートコミュニケーション事業では、一般公募による市民チーム「SCARTSアートコミュニケーション『ひらく』」によるさまざまな自主的・創造的活動への支援を通して、「市民とアートをつなぐ」ことに取り組んできました。「ひらく」は2018年8月に1期生35名でその活動をスタートし、2020年4月に2期生20名、2021年4月には3期生17名を迎えました。2022年3月には1期生が任期を終えて卒業し、その後もそれぞれの活動を続けています。

SCARTSでは、2023年に開館5周年を迎えることを機に、事業全体の再構築に取り組んでいます。それに伴い、本事業は、2022年3月の2・3期生の卒業をもって終了することとなりました。今後は、「ひらく」の活動によって生まれたさまざまなネットワークや成果を活かしながら、「市民とアートをつなぐ」ためのより開かれた実践の方法を検討していきます。

SCARTS アートコミュニケーション「ひらく」

SCARTSアートコミュニケーション「ひらく」は、年齢も職業もさまざまなメンバーが集い、共に「市民とアートをつなぐ」「アートを介して人と人をつなぐ」活動を実践するチームです。活動のために必要な知識を学ぶ講座を受け、展覧会での鑑賞プログラムやワークショップの企画・運営、ウェブを使った鑑賞レポートの発信など、アーティストや専門家、SCARTSのスタッフと共に、さまざまな手法で創造的なコミュニケーションの場づくりを行ってきました。

令和4年度は、対話による鑑賞、冊子の編集、インタビューの方法論などの講座を受講し、成果をかたちに残すとともに、メンバーそれぞれの関心に基づく自主企画を実施しました。また、「人とアートをつなぐアートコミュニケーション『ひらく』をふりかえる展」を開催し、4年半にわたる活動をふりかえりました。



〈おもな活動〉

ウェブなどを通じた言葉の発信

SNSで自分たちの活動を紹介するほか、アートコミュニケーションの情報発信サイト「鑑賞レポート」から、展覧会やコンサート等のレポートや、アーティストのインタビュー記事などを発信しています。



「対話による鑑賞」を通じた作品鑑賞サポート

参加者との対話による美術作品の鑑賞サポートプログラムを通して、作品との出会いの入り口をつくります。



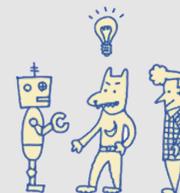
ワークショップなどの企画

ワークショップなどを通じて、アーティストや子どもたちとともに、創造とコミュニケーションの場をつくります。



自主企画

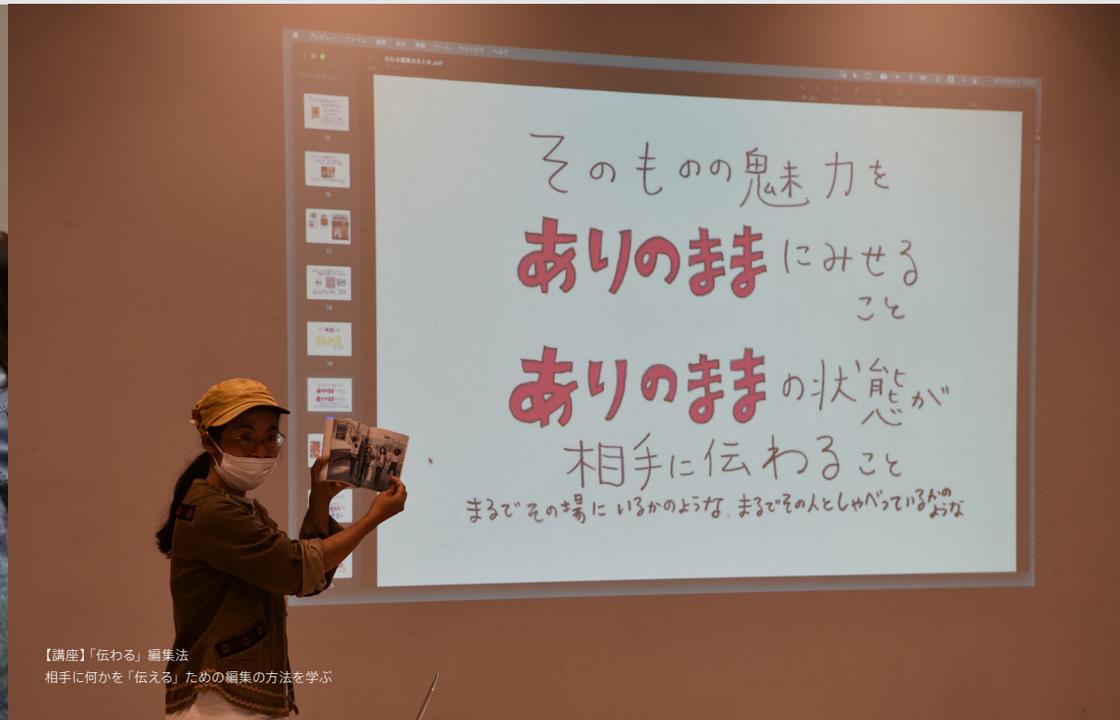
札幌市民交流プラザを舞台にしたオリジナルの企画を通して、自分たちの「挑戦してみたい」をかたちにします。



アートコミュニケーション事業
https://www.sapporo-community-plaza.jp/organize_scarts.php?num=860



【講座】あらためまして、こんにちは！
チームで課題に取り組みするための作戦会議



【講座】「伝わる」編集法
相手に何かを「伝える」ための編集の方法を学ぶ



【講座】「アイデアの種」の探し方と育て方
チームごとのディスカッション



【講座】「伝わる」編集法
「伝える」ためにはデザインも重要

アートコミュニケーション事業

〈講座・実践活動〉

チームビルディング

2022年5月21日(土) 10:00~15:00

【講座】あらためまして、こんにちは！

コロナ禍により対面でのコミュニケーションの機会が制限されていた2・3期生の関係づくりを目的に、演劇の手法を用いたワークショップを行いました。

講 師：納谷真大 (ELEVENNINES / 劇作家・俳優)

参 加 者：17名



体を使ったコミュニケーションに取り組む



さまざまなワークショップを実施

ワークショップなどの企画

2022年6月18日(土) 10:00~15:00

【講座】「アイデアの種」の探し方と育て方

身の回りのモノやコトからアイデアの「種」を探し出し、チームの「企画」として育てるための方法を学ぶワークショップを行いました。

講 師：伊藤達矢 (東京藝術大学社会連携センター 特任教授)

参 加 者：15名



チーム全体でひとつの「企画」をつくる方法をレクチャー



みんなの「アイデアの種」を共有

ウェブなどを通じた言葉の発信

【講座】「伝わる」編集法

身の回りのモノやコトから「伝えたい」トピックを見つけ、人に「伝わる」情報として編集・発信する方法を学び、実際に冊子編集に取り組みました。講師のアドバイスを受けながら、チームで取材・執筆、ページのレイアウト、表紙デザインに挑戦し、札幌のまちの楽しみ方、自分の好きなものをテーマに、2冊の小冊子を完成させました。

講 師：来嶋路子 (ミチクル編集工房)

【概要編】 2022年6月25日(土) 10:00~15:00

参 加 者：10名

【実践編】 2022年10月29日(土) 10:00~15:00

参 加 者：9名



「伝える」方法についてのレクチャー



「好きなこと」を伝える小冊子づくりに挑戦



チームでテーマを決めて冊子づくり



自分たちで製本まで行って、冊子が完成

アートコミュニケーション事業

【講座】 他者の世界をのぞく
～インタビューの作り方～

他者の思考やパーソナリティを伝えるインタビュー記事制作の方法論を学び、実際に記事制作に取り組みました。講師による添削を受けるとともに、チームでの話し合いを通して、他者の視点をふまえた原稿を完成させました。

講 師：福住廉（美術評論家／秋田公立美術大学大学院 准教授）

【概要編】 2022年8月27日(土) 10:00～15:00

参加者：10名

【実践編】 2022年11月19日(土) 10:00～15:00

参加者：6名



他者のパーソナリティを伝えるためのインタビューの方法論を学ぶ



それぞれがまとめた記事について意見交換

2022年9月17日(土) 14:00～18:00

【実践活動】アーティストへの
インタビューと記事制作

講座の内容をふまえ、3名のアーティストにインタビューを行い、インタビュー記事の編集に取り組みました。完成した記事3本は、SCARTSアートコミュニケータの情報発信ツールであるウェブサイト「鑑賞レポート」に公開しました。

インタビュイー：国松希根太、谷口顕一郎、渡邊希

参加者：6名



鑑賞レポート

<http://ac-bbs.sapporo-community-plaza.jp/report/>



渡邊希さんへのインタビュー



ウェブサイト「鑑賞レポート」



【講座】鑑賞ツアーの実践に向けて
鑑賞ツアーで扱う作品についての意見交換



【講座】鑑賞ツアーの実践に向けて
国松希根太作品の前でファシリテーションのリハーサル



【実践活動】アートコミュニケーター「ひらく」と巡る常設アート鑑賞ツアー
ツアーのラストは谷口顕一郎作品

アートコミュニケーション事業

「対話による鑑賞」を通じた作品鑑賞サポート

2022年7月16日(土) 10:00~15:00

【講座】鑑賞ツアーの実践に向けて
～まちなかのアートワークについて知る～

10月に実施する常設アート鑑賞ツアーに向け、札幌市民交流プラザ館内や周辺にあるアートワークを紹介し、パブリックな空間にあるアートの意味や機能について学びました。

講師：樋泉綾子 (SCARTS キュレーター)

参加者：10名



札幌の事例からパブリックアートについて学ぶ



それぞれの意見を共有して理解を深める

【講座】鑑賞ツアーの実践に向けて

これまで続けてきた「対話による鑑賞」の方法論を復習するとともに、常設アート鑑賞ツアーに向けて実際の作品を前にファシリテーションを行い、講師のアドバイスを受けました。

講師：山崎正明

【対話による鑑賞を深める】 2022年7月30日(土) 10:00~15:00

参加者：11名

【鑑賞ツアーリハーサル】 2022年9月24日(土) 10:00~15:00

参加者：7名



「対話による鑑賞」についてのレクチャー



実際の作品を前にリハーサル

【実践活動】アートコミュニケーター
「ひらく」と巡る常設アート鑑賞ツアー

札幌市民交流プラザの開館記念イベント「プラザフェスティバル」のプログラムのひとつとして、創世スクエアの常設アート作品を巡る鑑賞ツアーを開催し、身近な作品にあらためて親んでもらう機会となりました。

鑑賞作品：国松希根太《HORIZON》、谷口頭一郎《凹みスタディー-札幌のかたちを巡る2018-》、渡邊希《舞》

2022年10月8日(土) ①11:00~12:00 ②15:00~16:00

会場 さっぽろ創世スクエア

参加者 ①8名 ②18名



鑑賞ツアー本番。はじめに渡邊希作品を鑑賞



参加者からはさまざまな感想が

アートコミュニケーション事業

自主企画

札幌市民交流プラザ
バックステージツアー

札幌市民交流プラザの魅力を伝えるため、SCARTS、札幌文化芸術劇場hitaru、札幌市図書・情報館の裏側をメンバーが訪問し、各施設のスタッフに取材した動画を編集して、YouTubeで公開しました。

[公開動画]

SCARTSテクニカルスタッフ編

取 材 日：2022年11月19日(土) 15:30～17:00

出 演：札幌文化芸術交流センター SCARTSテクニカルスタッフ 山田大輝

hitaru 舞台技術課編

取 材 日：2022年12月1日(木) 13:00～14:30

出 演：札幌文化芸術劇場 hitaru 舞台技術課 技術係長(当時) 齋藤玲
株式会社北海道ステージアートアライアンス 佐賀風香/佐々木忠/戸高健司

札幌市図書・情報館 司書編

取 材 日：2023年3月11日(土) 14:30～15:30

出 演：札幌市図書・情報館 司書 渡辺由布子



公開動画

<https://www.youtube.com/watch?v=H5oQXi0qDQQ>


SCARTS テクニカルスタッフ編



hitaru 舞台技術課編



hitaru 舞台技術課編



司書編

フリーペーパー
『映画の扉をひらく』発行

映画に関心のあるメンバーからなる「ひらく映画部」の自主企画として、テーマを決めてセレクトした映画の魅力をそれぞれの言葉で伝えるフリーペーパー『映画の扉をひらく』を発行し、SCARTSのインフォメーションコーナーや「SCARTSアートコミュニケーター『ひらく』をふりかえる」展の会場で配布しました。

*「SCARTSアートコミュニケーター『ひらく』をふりかえる」展(P18参照)でも、「ひらく」メンバーが自主企画を行いました。



その他

2023年3月4日(土) 14:00～16:00

会場 SCARTSコート

SCARTS アートコミュニケーター
「ひらく」2・3期生卒業式

参 加 者：20名



アートコミュニケーション事業

2023年1月12日(木)～1月16日(月) 11:00～19:00

会場 SCARTSスタジオ

人とアートをつなぐ SCARTSアートコミュニケーター 「ひらく」をふりかえる展

「市民とアートのつなぎ手」として活動するチームである SCARTS アートコミュニケーター「ひらく」の4年半にわたる講座や、「対話による鑑賞」を通じた作品鑑賞サポート、ワークショップなどの企画、ウェブなどでの言葉の発信といった活動、そして、「ひらく」を卒業したメンバーによる「札幌アートコミュニケーターズ」の活動を、パネル展示や記録映像等で紹介しました。

期間中は、ひらくメンバーによる自主企画も実施しました。音楽の鑑賞ワークショップ「コトバで紡ぐ音楽」では、メンバーが選んだ数曲を鑑賞し、音楽から感じるイメージを共有して聴き直すことで新たな発見を楽しみました。「ひらく映画部の『ゆるゆる映画トーク会』」では、メンバーが持ち寄った映画のパンフレットや書籍などを通し、映画の感想や思い出を語り合いました。美術作品の鑑賞ワークショップ「みる・かんがえる・はなす・きく」では、美術家の川上りえさんの作品を展示し、参加者と感じたことや意見を共有しながら、作品を深く鑑賞する機会となりました。

会期中のプログラム「ふりかえりトーク『ひらくさんいらっしやい』」では、アートを介してコミュニティを育む「とびらプロジェクト」を立ち上げ、「ひらく」の活動にも併走してくれた東京藝術大学の伊藤達矢氏をゲストに迎え、ひらくメンバーとともに活動をふりかえりました。後半は、伊藤氏とアートコミュニケーション事業担当の樋泉綾子が、「札幌アートコミュニケーターズ」として活動を続けている1期生の山際愛氏を交え、「ひらく」の活動の意義や、これからのアートコミュニケーションのあり方についてお話し
来場者：274名





アートコミュニケーション事業

〈会期中のプログラム〉

2023年1月14日(土) 13:00~15:00

会場 SCARTSスタジオ

鑑賞ワークショップ
「コトバで紡ぐ音楽」

参加者：7名



2023年1月14日(土) 17:00~18:00

会場 SCARTSスタジオ

ひらく映画部の
「ゆるゆる映画トーク会」

参加者：16名



2023年1月15日(日) 11:00~12:30

会場 SCARTSモールC

鑑賞ワークショップ
「みる・かんがえる・はなす・きく」

参加者：18名



2023年1月15日(日) 14:00~16:00

会場 SCARTSスタジオ

ふりかえりトーク
「ひらくさんいらっしゃい」

話し手：ひらくメンバー【2期生】大澤香織・平原千景・齋藤幸司、【3期生】江野清美・鈴木ひな・田原実遊、山際愛（ひらく1期生/札幌アートコミュニケーターズ）、伊藤達矢（東京藝術大学社会連携センター 特任教授）、樋泉綾子（SCARTSキュレーター）

参加者：25名



主催 札幌文化芸術交流センター SCARTS (札幌市芸術文化財団)

SCARTS主催の イベント・プロジェクト

SCARTSが主催する文化芸術イベントやプロジェクト



++A&T – SCARTS ART & TECHNOLOGY PROJECT – (プラプラット)

次世代の文化芸術の担い手である若年層をターゲットに、アーティストや研究者とSCARTS、そしてワークショップに参加する札幌の中学生・高校生と共に創作する「場」をつくるプロジェクトです。毎回テクノロジーに関わるテーマを設定し、ワークショップとその成果を紹介する展覧会を行ってきました。

2022年3月12日(土)–4月10日(日) 11:00~19:00

会場 SCARTSモールC

++A&T04 CoSTEP×SCARTS×札幌の高校生たち 「地球をかたづける」ワークショップ成果展

北海道大学 CoSTEPと連携し、2021年11月にアーティストの大和田俊を講師に招いてワークショップ「地球をかたづける」を実施しました。成果展では、ワークショップのプロセスや参加者のアイデアとともに、講師と研究者の対話の記録などを展示し、大和田の作品《unearth》を起点に生まれた問いや関わった人々の思考の広がりを紹介しました。

アーティスト：大和田俊

協力：石井一英（北海道大学大学院工学研究院循環共生システム研究室 教授）

入場者：860名



ダイジェスト映像
<https://youtu.be/S-oUf9Wu8z4>

撮影：百頭たけし



〈関連イベント〉

2022年4月9日(水) 14:00~15:30

会場 SCARTSモールC、オンライン

クロージングトーク

登壇者：大和田俊（アーティスト）、石井一英（北海道大学大学院工学研究院循環共生システム研究室 教授）、百頭たけし（写真家）

司会：樋泉綾子（SCARTSキュレーター）

参加者：10名

視聴者：18名



主催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）、北海道大学大学院
育推進機構オープンエデュケーションセンター科学技術コミュニケーション教育
研究部門（CoSTEP）

後援：札幌市、札幌市教育委員会

メディアアートシリーズ

札幌市が加盟するユネスコ創造都市ネットワーク、メディアアート都市の取り組みに資するため、メディアアートを軸にさまざまな事業を展開しています。領域横断的な研究開発（R&D）によってこれからのメディアアートを支え、メディアアート都市の可能性を探求することを目指して、札幌で活動する専門性の高い機関との連携により「冬の展覧会」、「アート&サイエンスワークショップ」、「Side Effects 2022-2024」などの事業を実施しました。

2023年2月4日(土)ー2月14日(火) 11:00~19:00

会場 SCARTSコート、SCARTSモール A,B,C

SCARTS × SIAF ラボ 冬の展覧会 2023 「雪にまつわるエトセトラ」

札幌国際芸術祭(略称:SIAF)のもとで実験的な活動を行うSIAFラボと共同し、2018年よりメディアアートを通じて冬の新たな魅力や創造性を発見しようとする継続的な取り組みを行っています。5回目となる本展では、札幌市で稼働する除雪車や雪堆積場のデータをはじめ、吹雪という過酷な自然現象を題材とした体験・体感型のインスタレーションを展示。他にも、S.I.D.E.プロジェクトの活動記録や、NoMapsとのコラボレーションによる北国の企業の先進的な研究開発事例を紹介する展示を行いました。

入場者: 2,800名



特設サイト
<https://siaflab.jp/wex2023/>

〈関連イベント〉

2023年2月4日(土) 15:00~15:40

ギャラリーツアー

参加者: 30名

2023年1月26日(木)ー2月21日(火)

会場 札幌市図書館・情報館

ピックアップブックス

撮影: 門間友佑



展覧会風景「イントロダクション」

撮影: 門間友佑



《吹雪とレーザーによる風の可視化》(2023)

企画: SCARTS × SIAFラボ
主催: 札幌文化芸術交流センター SCARTS (札幌市芸術文化財団)、札幌国際芸術祭実行委員会、札幌市、北海道大学大学院教育推進機構オープンエデュケーションセンター 科学技術コミュニケーション教育研究部門 (CoSTEP)
協力: 札幌市雪対策室、札幌市図書館・情報館、NoMaps実行委員会、ゼロスベック株式会社
助成: 令和4年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業

メディアアートシリーズ

2023年2月11日(土)～12日(日) 10:00～16:00

会場 SCARTSスタジオ

SCARTS × CoSTEP
アート&サイエンスワークショップ
「漂う環境」

北海道大学 CoSTEPと連携し、サイエンスやテクノロジーを切り口に、メディアアートを含む多様な表現や創造的活動への関心を喚起することを目指して、次世代を担う若い世代を対象に行うワークショップシリーズ。今回はアーティストの上村洋一を招き、フィールドレコーディングの体験を通して人と環境の関係性を再考するワークショップを実施しました。参加者は、アーティストと研究者によるレクチャー及び北海道大学構内のガイドツアーを経てフィールドレコーディングを体験し、自身の発見や思考を可視化するサウンドマップ制作に取り組みました。ワークショップ最終日には、フィールドレコーディングを制作の手法とする3名のアーティストによるライブイベントを開催し、環境音を取り入れた演奏を鑑賞する機会を設けました。

参加者：5名

講師：上村洋一（アーティスト）

ゲスト講師：HAM GEUN-YONG（北海道大学大学院工学研究院環境工学分野 循環共生システム研究室 助教）、EzoLin-K

〈関連イベント〉

2023年2月12日(日) 開演 18:00

会場 SCARTSコート

ライブパフォーマンス

出演者：上村洋一（アーティスト）、YOSI HORIKAWA(サウンド・クリエイター)、
Kuniyuki Takahashi(サウンド・デザイナー/プロデューサー/DJ)

入場者：64名

撮影：門間友佑



撮影：クスメエリカ



主催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）、札幌国際芸術祭実行委員会、札幌市、北海道大学大学院教育推進機構オープンエデュケーションセンター科学技術コミュニケーション教育研究部門（CoSTEP）

機材協力：ローランド株式会社

助成：令和4年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業

メディアアートシリーズ

Side Effects 2022-2024

SIAFラボ、北海道大学 CoSTEP と共同するプロジェクト「Side Effects 2022-2024」では、半世紀前に現代音楽家のデーヴィッド・チュードアらによって構想された孤島を丸ごと楽器化する未完のコンサート計画《Island Eye Island Ear》（以下：IEIE）の今日的な実現可能性を北海道を舞台に探求しています。

2022年8月21日(日)9:00~15:00

会場 モエレ沼公園

IEIE, Reflected : Phase1 公開実験：サウンドビーム

協力：公益財団法人札幌市公園緑化協会

参加者：30名

2022年8月28日(日)ー9月13日(火)11:00~19:00

会場 SCARTSモールC

IEIE, Reflected : Phase1 展示：IEIE クロニクル

2022年8月に実施したPhase1『公開実験：サウンドビーム』では、1974年にチュードアらがクナーベルシェア島で行なった調査の記録をもとに、当時用いられたものと同様のパラボリック・スピーカーや、当時は存在しなかった超音波を用いたパラメトリック・スピーカーを使った聴感テストを実施。74年に描かれた島の地図から算出した、距離にして約100メートルのサウンド・ビームを再現するとともに、モエレ沼公園内のサクラの森エリアにあるコンクリートの構造物を音の反射体として使う実験を行いました。

さらに『IEIE クロニクル』と称して、時間的要素に注目し、IEIE に関わる島探しの舞台となった欧米、北海道・札幌でのリサーチで出会う人物やさまざまな出来事のネットワークを時系列上に結びつけ、俯瞰する空間的年代記を展示しました。

入場者：846名

2023年2月4日(土)ー2月14日(火) 11:00~19:00

※冬の展覧会2023内で展示

会場 SCARTSモールC

IEIE, Reflected : Phase2 ロケーション・ハンティング

続くPhase2『ロケーション・ハンティング』では、時間から空間に焦点を移し、実際にリサーチを行なった道内の鷗島（江差）、大黒島（室蘭）、弁天島（朱鞠内湖）の記録映像に加えて、訪れた先々で出会った専門家や研究者のインタビューのテキスト（＝副産物）を、言葉と言葉の隠れた関係をデータ分析によって可視化しながら、北海道の巨大な地図上に配置して展示しました。

入場者：626名

撮影：門間友佑



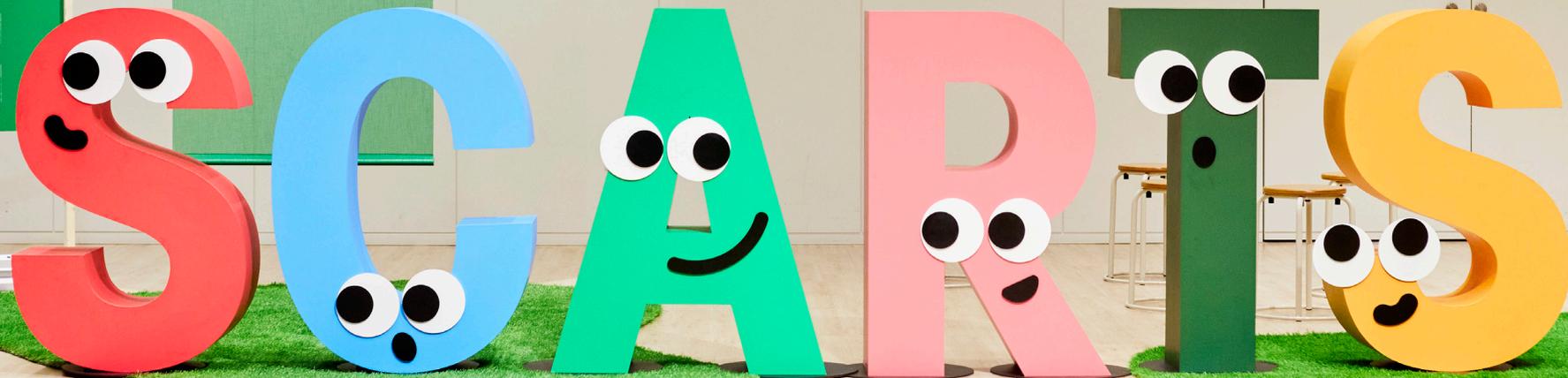
Phase2の展示風景

企画：S.I.D.E.

主催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）、札幌国際芸術祭実行委員会、札幌市、北海道大学大学院教育推進機構オープンエデュケーションセンター科学技術コミュニケーション教育研究部門（CoSTEP）



SCARTSって、
なにをしているの？



PLAZA FESTIVAL 2022

札幌市民交流プラザでは、開館記念イベントとして毎年10月に「プラザフェスティバル」を開催しています。SCARTSでは、外部団体との連携企画や、SCARTSを紹介する展示とオープンミーティングを実施。創作や鑑賞を楽しむ機会をつくるとともに、多くの方にSCARTSの活動を知ってもらう機会となりました。

2022年10月7日(金)ー10月10日(月・祝) 11:00~18:00

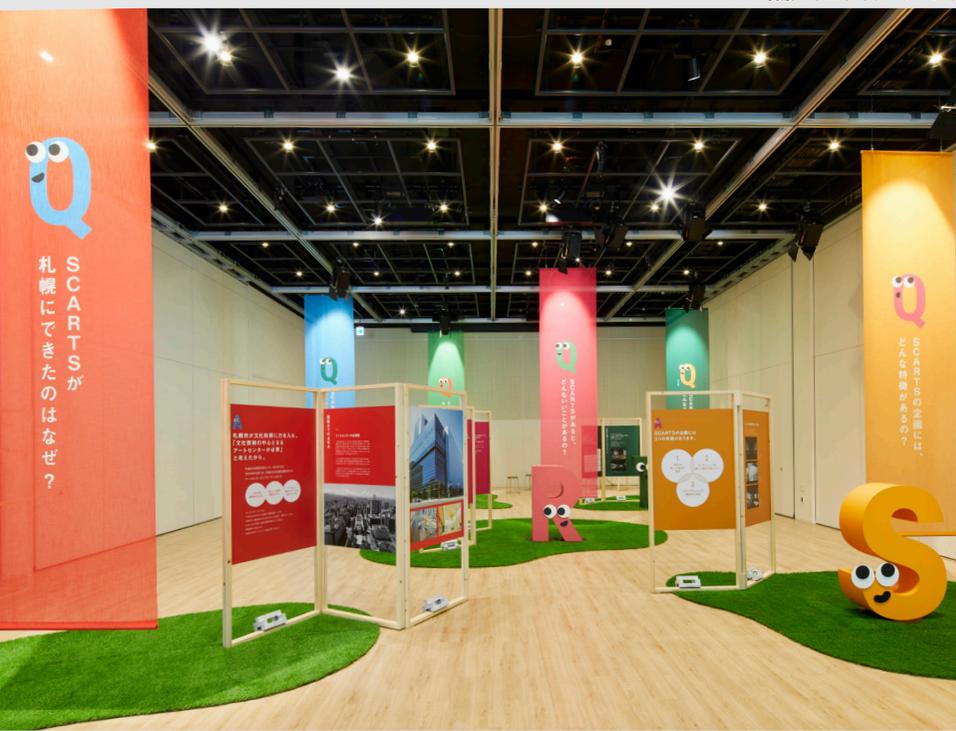
会場 SCARTSコート

あらためまして、SCARTS です。
ドキュメント展 2018-2021

SCARTSが設立された経緯やこれまでの活動、SCARTSスタッフの仕事について紹介するドキュメント展。公園のような開放的で親しみのある空間に設置した「SCARTSでどんなことが起きたら楽しい?」と問う参加型のパネルには、来場者からたくさんのアイデアが寄せられました。

入場者：416名

撮影：リョウイチ・カワジリ



SCARTSラーニングプログラム

2022年10月10日(月・祝) 14:00~16:00

会場 SCARTSコート

あらためまして、SCARTSです。
オープンミーティング

札幌のアートセンターであるSCARTSがどんなところなのかを参加者と共に考えることを目的に、これまでSCARTSが行ってきたこと、今SCARTSが取り組んでいること、そしてこれからのSCARTSのあり方について、SCARTSスタッフが道外・市内のゲストとともに意見交換するためのオープンミーティングを開催しました。

登壇者：カジタシノブ (インタークロス・クリエイティブ・センター ディレクター (当時))、川上りえ (美術家)、宮井和美 (モエレ沼公園 学芸員)、吉本光宏 (株式会社ニッセイ基礎研究所 研究理事・芸術文化プロジェクト 室長 (当時))、樋泉綾子 (SCARTS キュレーター)、松本桜子 (SCARTS 文化芸術活動サポート 担当)、山田大揮 (SCARTS テクニカル 担当)

モデレーター：木ノ下智恵子 (SCARTS 事業統括ディレクター / 大阪大学 21世紀懐徳堂 准教授)

参加者：44名

撮影：リョウイチ・カワジリ



主催：札幌文化芸術交流センター SCARTS (札幌市芸術文化財団)

PLAZA FESTIVAL 2022

2022年10月7日(金)～10月10日(月・祝) 11:00～19:00

※初日は12:00から、最終日は17:00まで

PLAZA FESTIVAL 2022

「MORIHICO. Marché de GRENIER

(マルシェ・ドウ・グルニエ) × プラザマルシェ」

新型コロナウイルスが依然猛威をふるう中、「人と人の繋がりが希薄になりつつあり、オンラインで何でも買ってしまう時代にこそ、作り手との交流を大事にしたい」との思いから、作家と来場者との心の距離を少しでも近づけるべく開催しました。

出店者：CocoLi、trois…、BLUEPOND、Mc.Profumo、DECOPACCHI、
ふあーむらんど shinwa、atelier koeda、MEDO、ancoco、yuk no utar、m y m、
佐藤歩惟、Hanke-Sandwich&Inn、pluie、HARUM、MOMOKA、
草木染め布ナブキン uka・uka、靴磨き職人/足元デザイナー オカモトヒデミ、mimori-観森、
クワイアンウクレレ、MORIHICO。

入場者：600名

主催：MORIHICO。
共催：札幌文化芸術交流センター SCARTS (札幌市芸術文化財団)

撮影：武石俊一



2022年10月8日(土)・9日(日) 10:00～17:00

※参加受付は16:00まで

会場 SCARTSスタジオ

札幌芸術の森

クラフトキャラバン ワークショップ

「街、森、クラフト」

札幌芸術の森クラフト工房による、気軽に楽しめるクラフトワークショップ。さまざまな「ものづくり」が体験できる機会となりました。

【テキスタイル】珈琲で染める

講師：濱谷友里
参加者：14名

【七宝】秋いろ七宝焼アクセサリ

講師：佐藤歩惟
参加者：33名

【陶芸】ねこ型小皿の絵付け

講師：岩淵咲貴
参加者：39名

【版画】パスタマシンで刷る紙版画

講師：品田佑衣
参加者：16名

主催：札幌芸術の森クラフト工房 (札幌市芸術文化財団)

共催：札幌文化芸術交流センター SCARTS (札幌市芸術文化財団)



西2丁目地下歩道映像制作プロジェクト

さっぽろ地下街オーロラタウンと札幌市民交流プラザをつなぐ「西2丁目地下歩道」を上映スクリーンとして活用した映像制作プロジェクトです。アーティストに新作の制作を委嘱し、4面で構成された横長のスクリーンと地下歩道という特徴を生かしながら、多様で実験的な映像表現を探索しています。

2022年4月1日(金)～

会場 西2丁目地下歩道

小田香《Underground》上映開始

人間の記憶—私たちはどこから来て、どこに向かっているのか—を一貫して探究する小田香が、巨大な建造物のある札幌の地下空間に着目して制作した《Underground》を上映作品に追加。普段は立ち入れない不可視の地下に、プライベートな情景・洞窟・宇宙といったさまざまなイメージを投影し16ミリフィルムで撮影した本作は、人々の営みによって都市の地下に積み重なった時間を複線的に捉え直し、私たちが今立っている空間と時間の原初へと想像を導いていきます。

小田香《Underground》9分37秒(2022)

監督/撮影/編集/サウンドデザイン:小田香

テクニカル・ディレクション/音響/グレーディング:長崎隼人

撮影・制作アシスト:三浦博之

プロデューサー:杉原永純

エグゼクティブ・プロデューサー:筒井龍平(トリクスタ)

撮影協力:札幌市交通局、札幌市下水道河川局、札幌市水道局、札幌市雪対策室、モエレ沼公園、

シアターキ/8mmフィルム投影映像提供:中島洋(「窓から海の揺れがみえた」)、

中島ひろみ(「えにっき5『水の日』1991」)、佐藤朋子、小林昌三

協力:さっぽろ天神山アートスタジオ

その他上映作品:スタジオロッカ《UNDER UNIVERSE》(2019)

大木裕之《トシ》(2020)

野口里佳《虫・木の葉・鳥の声》(2020)

アビチャボン・ウィーラセタクン《憧れの地(The Longing Field)》(2021)

撮影: Kenzo Kosuge



SCARTSラーニングプログラム

2022年6月11日(土) 14:00~15:30

会場 SCARTSコート、オンライン

小田香《Underground》 スクリーン上映&トーク

西2丁目地下歩道での上映開始を記念して、特設スクリーンでの上映を実施すると共に、札幌のさまざまな施設で小田香ならではの手法により撮影された本作について、制作メンバーと制作プロセスやその背景について語るトークイベントを実施しました。

登壇:小田香(フィルムメーカー/アーティスト)

長崎隼人(プリプロジェクションマネージャー)

杉原永純(プロデューサー/キュレーター)

進行:岩田拓朗(SCARTSテクニカルディレクター(当時))

参加者:68名

視聴者:20名



レポート

https://www.sapporo-community-plaza.jp/upfile/scarts/nishi2p/Underground_talk.pdf

主催:札幌文化芸術交流センター SCARTS(札幌市芸術文化財団)

SCARTS 連携事業

さまざまな文化施設や組織と連携して行うイベントなど



Marché de GRENIER (マルシェ・ドゥ・グルニエ)

札幌市民交流プラザ 1 階にあるカフェ「MORIHICO. 藝術劇場」を運営するコーヒーブランド「MORIHICO.」のプロデュースにより、アクセサリやアンティーク、インテリア雑貨などを集めたマルシェを開催しました。

2022年4月29日(金・祝)ー5月4日(水・祝) 11:00~19:00

※初日は12:00から、最終日は17:00まで

会場 SCARTSモール A,B

Marché de GRENIER(マルシェ・ドゥ・グルニエ)

札幌市民交流プラザでは4回目の開催となる今回は、「春のピクニック」をテーマにアクセサリ、ハンドメイド雑貨やパンなどを扱う道内選りすぐりのお店が集結しました。

出店者: DECOPACCHI、HARUM、チーズ工房アドナイ、moreu、MOMOKA、CocoLi、工房はまなす、和田硝子器店、ancoco、かくれ家、Vintners、atelier koeda、Aobato、dotto.CANDLE、チエツペーカーいおもや、pluie、Finland selectshop vaasä、Hanke-Sandwich&Inn、Grand Vin Cellar、イコロの森、アリスの北海道お菓子店 chat、オカモトヒデミ、MORIHICO.

入場者: 600名

撮影: 武石俊一



2022年7月29日(金)ー31日(日) 11:00~19:00

※初日は12:00から、最終日は17:00まで

会場 SCARTSモール A,B

Marché de GRENIER (マルシェ・ドゥ・グルニエ) 「つなぐさっぽろ~ 100th anniv. PARTY ~」

2022年8月に札幌市が市制施行100周年を迎えることを記念して、「つなぐさっぽろ~ 100th anniv. PARTY~」をテーマに開催。アクセサリやアンティーク、インテリア雑貨など、札幌の魅力を紡ぎ続けているお店・アーティストが集結しました。

出店者: 木工挽物・家具クドウテツト、Liaison / Liaison color、jobin.、シモオオゾノミホ、靴磨き職人 / 足元デザイナー オカモトヒデミ、Finland selectshop vaasä、pluie、ORITO、calme.、mimori - 観森、またたび文庫、サッポロ・ミツパチ・プロジェクト、drop by、MORIHICO.

入場者: 240名

2022年10月7日(金)ー10日(月・祝) 11:00~19:00

※初日は12:00から、最終日は17:00まで

会場 SCARTSモール A,B

PLAZA FESTIVAL 2022 「MORIHICO. Marché de GRENIER (マルシェ・ドゥ・グルニエ) × プラザマルシェ」

* 29ページに掲載

主催: MORIHICO.

共催: 札幌文化芸術交流センター SCARTS (札幌市芸術文化財団)

彫美連続講座、版画工房開館 30 周年関連事業

2022年5月7日(土) 10:30~12:00

会場 SCARTSスタジオ、オンライン

彫美連続講座 2022 「本郷新のメッセージを聴く」

反戦・平和を謳う本郷新作《わだつみの声》を軸に、本郷新の生き様や彫刻芸術の社会での受容、さらに学校教育との関係について講話しました。

講師 師：佐藤広也（全道学校図書館協会 幹事）

参加者：40名 視聴者：19名

2022年7月16日(土) 10:30~12:00

会場 SCARTSスタジオ、オンライン

彫美連続講座 2022
「本郷新とピカソー平和を求め
る
芸術家の旅と造形をめぐって」

ピカソを平和のために活動する芸術家として敬愛した本郷新の思いを、本郷作品の表現や造形上の特徴から浮き彫りにした研究に基づいて講話しました。

講師 師：山田のぞみ（札幌芸術の森美術館 学芸員）

参加者：34名 視聴者：16名

2023年3月11日(土) 10:30~12:00

会場 SCARTSスタジオ、オンライン

彫美連続講座 2022
「日本の野外彫刻史と山内壮夫」

日本の野外彫刻の歴史を4期に分類し、その観点を作品鑑賞の助けに応用するなど、野外彫刻を見る上でのポイントについて講話しました。

講師 師：藤井匡（東京造形大学教授）

参加者：39名 視聴者：18名

主催 師：本郷新記念札幌彫刻美術館（札幌市芸術文化財団）

共 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

2022年11月29日(火) 18:00~19:30

会場 SCARTSスタジオ、オンライン

版画工房開館 30 周年関連事業
「版画—いま・これから」

札幌芸術の森版画工房の開館30周年を記念したトークイベントを開催。小林敬生氏、渡会純价氏、志摩利希氏を迎え、世界の版画の歴史から始まり、北海道における版画の現状、版画工房の役割を話し合うとともに、コンピューターを使用した作品制作など、これからの版画のあり方について考えました。

基調講演：小林敬生「版画—出自から現代—」

登壇者：小林敬生、渡会純价、志摩利希

進行：吉崎元章（本郷新記念札幌彫刻美術館 館長）

主催：札幌芸術の森（札幌市芸術文化財団）

共 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）、北海道新聞社

協力：日本版画協会北海道支部、北海道版画協会

参加者：35名

視聴者：16名



主催：札幌芸術の森（札幌市芸術文化財団）

共 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）、北海道新聞社

協力：日本版画協会北海道支部、北海道版画協会

大学連携コンサート

札幌市芸術文化財団が連携協定を結ぶ北海道教育大学岩見沢校、及び札幌大谷大学との連携により、同大学で学ぶ次世代を担う若手音楽家に発表の機会を提供するとともに、気軽に音楽にふれる機会を市民に提供することを目的として、コンサートを実施しています。

2022年8月17日(水) 14:00 開演

会場 SCARTSコート

大学連携コンサート 北海道教育大学岩見沢校 「クラシックとジャズの出会いーフランス編」

ジャズ発祥の地であるニューオーリンズに入植したフランスの作曲家を中心に、クラシックとジャズが会うことで生まれた個性豊かな楽曲を紹介するコンサートを開催しました。ピアノ、クラリネット、ヴァイオリンがそれぞれの特徴を生かした軽快な演奏を披露しました。

出演者：河村真優／ピアノ、鶴田奈々／ピアノ、鈴木聖来／クラリネット、
安中綾梅／ヴァイオリン

曲目：【ドビュッシー作曲】

前奏曲集第1集より“ミンスレトル（吟遊詩人）”

前奏曲集第2集より“風変わりなラヴィーナ将軍”

ピアノ組曲『子供の額分』より“ゴリウォークのケーキウォーク”

【ラヴェル作曲】

『ヴァイオリン・ソナタ長調』第2楽章ブルース

【ブーランク作曲】

『クラリネット・ソナタ』第1楽章

【ストラヴィンスキー作曲】

『ラグタイム』

『ピアノ・ラグ・ミュージック』

【サティ作曲】

Ragtime Parade for Piano (1919)

パレードより『ラグタイム』

入場者：91名

アーカイブ映像期間限定公開：2022年9月17日(土)～11月17日(木)

主催：札幌文化芸術交流センター SCARTS (札幌市芸術文化財団)

後援：札幌市

協力：北海道教育大学岩見沢校 芸術・スポーツ文化学科 音楽文化専攻

撮影：原田直樹



大学連携コンサート

2023年1月5日(木) 14:00 開演

会場 SCARTSコート

大学連携コンサート 札幌大谷大学
「ヴァイオリンとヴィオラの響き
～時代と楽器を超える調べ～」

時代を超え、オリジナルとは異なるヴァイオリンとヴィオラ、ピアノという珍しい楽器編成でのコンサートを開催しました。楽曲の新たな魅力を引き出し、弦楽器の繊細さや迫力を存分に表現した演奏となりました。

出演者：徳田和可／ヴァイオリン、壺岐香風／ヴィオラ、永井花帆／ピアノ

曲目：【ブルッフ】
8つの小品 作品 83より第5曲、第7曲
【ヘンデル＝ハルヴォルセン】
パッサカリア
【モーツァルト】
ケーゲルシュタット・トリオ

入場者：110名

アーカイブ映像期間限定公開：2023年3月25日(土)～5月25日(木)

主催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）
後援：札幌市
協力：札幌大谷大学芸術学部音楽学科

撮影：原田直樹





SAPPORO ぶんだんきょうフェスティバル、NoMaps、アートボランティアウィーク

2022年8月19日(金)ー21日(日) 10:00~18:00

※最終日は17:00まで

会場 SCARTSコート、SCARTSスタジオ、SCARTSモールA,B,C

第51回 SAPPORO ぶんだんきょうフェスティバル

札幌市の芸術・文化の振興を目的に、札幌文化団体協議会との共催により札幌で活動する作家の絵画や書、造形作品など多彩なジャンルの作品を展示しました。また同時に、一般公募の子供たちや全道の特別支援学校・学級(小・中学校)からの応募作品を展示する「こどもアール・ブリュット北海道みらい作品展」も開催しました。

展 示：書道研究心華社、書道わか葉会、寒遊会書道、札幌市西区文化団体協議会、「道」俳句会、札幌川柳社、札幌切り絵の会、三才流盤景北見会、道の会(美術)、北海道陶芸協会、中野北溟(書)個人会員、阿部典英(造形美術)個人会員、細川久美子(和紙染色画「色波」)個人会員、壹岐伸子(絵画アトリエ・ピノノワール)個人会員

い け 花：池坊、池坊光明流清美会、池坊翠俊会、池坊清月派札幌支部、池坊清月派辻晶苔(個人会員)、大森千穂子フラワーアカデミー、小原流札幌支部、小原流横井景(個人会員)、小原流山本和子(個人会員)、華道専正池坊、嵯峨御流華道北海道司所、青山御流札幌支部、草月流K-スタジオ、草月ノ花満天星、龍生派札幌支部

お 茶 席：(公財)煎茶道方円流札幌支部

体験教室：アトリエピノ・ノワール、書道研究心華社、札幌文団協いけ花部門、臨床美術ほっかいどう

入 場 者：3,145名

主 催：札幌文化団体協議会

共 催：札幌市芸術文化財団(札幌文化芸術交流センター SCARTS /札幌市教育文化会館)、北海道新聞社

後 援：札幌市

協 賛：三浦印刷(株)

助 成：令和4年度札幌市文化芸術活動再開支援事業



2022年10月19日(水)ー23日(日)

会場 SCARTSコート、SCARTSスタジオ、SCARTSモールA,B,C

NoMaps2022

札幌・北海道を舞台に、クリエイティブな発想と技術によって次の社会や未来を創ろうとする人たちの交流の場(コンベンション)をつくるNoMapsと連携し、カンファレンスや展示、イベント、実証実験など、企業と市民をつなげる多様なプログラムを行いました。

入 場 者：980名

主 催：NoMaps実行委員会

連 携：札幌文化芸術交流センター SCARTS(札幌市芸術文化財団)



2022年10月27日(木)ー30日(日)

会場 SCARTSコート、SCARTSモールA,B,C

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

第4回アートボランティアウィーク2022 @ SCARTS

主 催：さっぽろアートボランティアネットワーク(V-net)

共 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS(札幌市芸術文化財団)

さっぽろアートステージ

2022年11月7日(月)ー23日(水) 10:00~19:00

※最終日は17:00まで

会場 SCARTSコート、SCARTSモールA,B

さっぽろアートステージ 2022
「キッズアートフェス」

札幌市内各所でさまざまな“アートの入口”をひらく秋の恒例イベント「さっぽろアートステージ」のプログラムとして、アーティストによる子ども向けのワークショップを行い、その成果を展示する「キッズアートフェス」を開催。デジタルアートを通して育む子どもたちの創造性をテーマとして、コロナ禍での少人数制のワークショップや、Zoomによるオンラインワークショップ、さらに事前の作品募集など、5組のアーティストが子どもたちと一緒に制作したさまざまな作品を楽しめる展覧会を開催しました。

アーティスト：石田勝也、佐藤壮馬、祭太郎、吉岡純希、row&row(アーティストユニット/Boat ZHANG +小林耕二郎)、ワークショップに参加した子どもたち

入場者：1,889名



石田勝也《風を想う》展示風景
画像提供：さっぽろアートステージ実行委員会

作品募集：2022年9月12日(月)ー10月25日(火)

口上パフォーマンス：2022年11月5日(土)、6日(日)、13日(日)、16日(水)

会場 SCARTSモールA,B

祭太郎と一緒に大きなオブジェを作ろう！

アーティスト：祭太郎

参加者：450名

2022年10月15日(土)

会場 オンライン

カラフルな雪をふらせよう！～はじめての
デジタルアートワークショップ

アーティスト：吉岡純希

参加者：12名

2022年10月29日(土)、11月5日(土)

※10月29日はオンライン開催

会場 SCARTSコート

見えない風の絵を描き、
それを映像にしてみよう！

アーティスト：石田勝也

参加者：16名

2022年11月5日(土)ー11月6日(日)

会場 SCARTSコート

暖かい炎をイメージした
アニメーションを作ろう！

アーティスト：row&row

参加者：16名

2022年11月5日(土)ー11月6日(日)

会場 SCARTSコート

自分の顔を3D彫刻にしてみよう！

アーティスト：佐藤壮馬

参加者：16名

主催：さっぽろアートステージ実行委員会



撮影：小牧寿里

「雪のうえにのびる道 / The roads stretch on the snow」
《Exceeding Algorithmic Description: The Practice of the Wild / アルゴリズムによる記述を超える：野生の実践》Vindur - Alana Gregory & Elica Masuya



撮影：小牧寿里

「雪のうえにのびる道 / The roads stretch on the snow」
《what we borrowed / 借りてきたもの》Alexandre Kato + Soshi Matsunobe



撮影：小牧寿里

「雪のうえにのびる道 / The roads stretch on the snow」
《Exceeding Algorithmic Description: The Practice of the Wild / アルゴリズムによる記述を超える：野生の実践》Vindur - Alana Gregory & Elica Masuya

さっぽろ天神山アートスタジオ

国内外のアーティスト等が滞在しながら創作活動を行うアーティスト・イン・レジデンス（AIR）拠点であるさっぽろ天神山アートスタジオと連携し、AIRのアーティスト選考に協力するとともに、採択アーティストによる滞在制作の成果展をSCARTSで開催しました。アーティストへの技術的なサポートを通して展示の充実を図り、プログラムの成果を広く市民に紹介する機会となりました。

2023年1月10日(火)～22日(日) 11:00～20:00

会場 SCARTSコート

国際公募 AIR プログラム 2022-2023 展覧会 「雪のうえにのびる道／

The roads stretch on the snow」

海外と日本のアーティストによるアート・コレクティブを対象とした国際公募で選ばれた2組が、さっぽろ天神山アートスタジオを拠点に約50日間にわたる滞在制作を実施。それぞれのコレクティブがAIRでのインスピレーションと思考を形にした作品の展示をSCARTSで行いました。

アーティスト：Vindur（アラナ・グレゴリー、升谷絵里香）、
Alexandre Kato + Soshi Matsunobe（アレクサンドル・カトー、松延総司）

入場者：694名

〈関連イベント〉

2023年1月10日(火) 19:00～19:45

ギャラリートーク&パフォーマンス

出演者：Alexandre Kato + Soshi Matsunobe（ギャラリートーク）、Vindur（パフォーマンス）

入場者：39名

主催：札幌市、さっぽろ天神山アートスタジオ／一般社団法人AISプランニング、
札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

支援：文化庁（令和4年度アーティスト・イン・レジデンス活動支援を通じた
国際文化交流促進事業）

協力：RESULT

SCARTSラーニングプログラム

2023年1月22日(日) 14:00～16:00

会場 SCARTSスタジオ

さっぽろ天神山アートスタジオ北海道 AIR ミーティング 「アーティストの滞在制作の現場 AIR in Hokkaido」

さっぽろ天神山アートスタジオは、コロナ禍で道外との往来が難しくなった2020年から、リサーチや制作活動のために滞在するアーティストをサポートする団体・個人とのネットワークを構築する活動に取り組んでいます。今回は旭川市、岩見沢市、斜里町、月形町、当別町、豊頃町、夕張市で活動する人々による活動紹介や情報交換を行いました。

登壇者：ヒミツキチこひつじ（斜里町）、アートラボ北舟（豊頃町）、旭川市在住有志（オンライン）、
当別アーティスト・イン・レジデンス（当別町）、みる・とーぶ（岩見沢市）、
清水沢プロジェクト（夕張市）、ツキガタアートヴィレッジ（月形町）、
アーティスト・イン・レジデンスあさひかわ（旭川市）

モデレーター：小田井真美（さっぽろ天神山アートスタジオAIRディレクター）

参加者：19名

主催：札幌市、さっぽろ天神山アートスタジオ／一般社団法人AISプランニング、
札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

支援：文化庁（令和4年度アーティスト・イン・レジデンス活動支援を通じた
国際文化交流促進事業）



札幌市図書・情報館セミナー

隣接する札幌市図書・情報館の企画により、本の中にも、インターネットの中にもない最新の情報を提供することをコンセプトに、「WORK」、「LIFE」、「ART」、「札幌の魅力」をテーマとしたオリジナルのセミナーを月2回開催しています。

会場：SCARTSコート
主催：札幌市図書・情報館、札幌市芸術文化財団

〈令和4年度札幌市図書・情報館セミナー一覧〉

日程	タイトル	講師
2022年 5月12日(木) 18:30～20:00	みんなで作るみんなの本屋 本×宿×シェルター	神輝哉 (Seesaw Books オーナー)
2022年 6月25日(土) 13:00～15:00	“たのしい”だけで終わらない コロナ時代で進化し続ける技術 ～VR市場の今と未来～	岸敬介 (株式会社キシブル 代表) 中村友 (株式会社KOO 代表)
2022年 6月30日(木) 18:30～20:00	現代アートってなんだろう？ ～脳が活性化する 新たなモノの見方・考え方～	上遠野敏 (札幌市立大学 名誉教授・美術家・ アートプロデューサー)
2022年 7月2日(土) 13:30～15:30	簡単！ビジネスで役立つ撮影テクニック ～スマホでも目を引く写真の撮り方～	田中ゆき (フォトグラファー)
2022年 8月4日(木) 18:30～20:00	あなたも『喜楽にクラシック』♪	浅原富希子 (ソプラノ歌手) 橘田由希乃 (ピアニスト)
2022年 8月13日(土) 13:00～15:00	「社会貢献」で起業する ソーシャルビジネスセミナーin SAPPORO	今野純子 (cocoスペース 代表) 長谷川一貴 (株式会社oneyfy 代表取締役) 澤出桃姫子 (日常生活支援あつべつ・たすけ愛 ふくろう 代表) モデレーター：河西邦人 (札幌学院大学 学長)
2022年 10月13日(木) 18:30～20:00	自分でできる商圏分析！ ～市場情報評価ナビ MieNa(ミーナ)活用術～	青山武夫(株式会社日本統計センター主任研究員)

日程	タイトル	講師
2022年 10月23日(日) 【1部】 13:30～14:30 【2部】 15:30～16:30	NoMaps連携企画トークイベント (2部制) 【1部】 100年映画祭のためのバトン 【2部】 NoMapsハレの日宣言	【1部】 小野朋子 (新千歳空港国際アニメーション映画祭チーフ・ディレクター)、 深津修一 (ゆうばり国際ファンタスティック映画祭 エグゼクティブプロデューサー)、 島田英二 (札幌国際短編映画祭 フェスティバル・ディレクター) モデレーター：倉本浩平 (札幌国際短編映画祭 運営委員) 【2部】 祭太郎 (合同会社maturi・はり灸アトリ 工祭林堂)、和田哲 (街歩き研究家)、 五十嵐慎一郎 (NoMaps総合プロデューサー／実行委員)、常松英史 (札幌国際短編映画祭 運営委員)
2022年 11月24日(木) 18:30～20:00	寄せ鍋ライフのすすめ ～仕事も暮らしも子育ても！ あなたの人生を100年楽しもう～	安藤哲也 (NPO法人ファザーリング・ジャパン 代表理事)
2022年 11月26日(土) 13:00～15:10	女性のための起業のヒント	小西麻衣 (小西経営デザイン研究所・中小企業診断士) 新岡唯 (イロドリイトロ株式会社) 菅原亜都子 (札幌市男女共同参画センター事業係長)
2022年 12月10日(土) 13:00～15:00	“ときめき”はチカラだ ～ミュージアムグッズ愛好家のオシゴト～	大澤夏美 (ミュージアムグッズ愛好家)
2022年 12月15日(木) 18:30～20:00	「First Step！はじめての創業セミナー」 ～図書・情報館からはじまる起業準備	高松浩子 (株式会社和學館 代表取締役) 小塚友平 (日本政策金融公庫 国民生活事業 北海道創業支援センター 所長)
2023年 1月26日(木) 【第1部】 16:00～17:00 【第2部】 18:00～19:00	法テラス劇場「成年後見と相続。」	岩井英典 (司法書士) 進行：脇田唯 ドラマ映像：作・演出 イナダ(劇団イナダ組) 動画出演：山村素絵、小林エレキ、吉田諒希、 江田由紀浩、前田透
2023年 1月28日(土) 13:00～14:30	今から知っておきたい新しい相続のルール	里村日美貴、小松洋輔 (札幌青年司法書士会 司法書士)
2023年 2月16日(木) 18:30～20:15	知るぼると塾 in 札幌 将来のお金の不安をゼロにするための 資産形成講座	横井規子 (北海道金融広報アドバイザー)
2023年 3月9日(木) 18:30～20:00	「好き」から始める未来への一歩 ～自分を活かす副業のアイデア～	吉田充 (北海道行政書士会 札幌支部会員)



札幌文化芸術交流センター
SCARTS
SAPPORO CULTURAL ARTS COMMUNITY CENTER

発行日：2023年9月22日

発行元：札幌文化芸術交流センター SCARTS
(公益財団法人札幌市芸術文化財団)

〒060-0001

札幌市中央区北1条西1丁目札幌市民交流プラザ
TEL：011-271-1955

デザイン：3KG

編集：3KG、札幌文化芸術交流センター SCARTS

© 2023 Sapporo Cultural Arts Foundation
無断転写、転載、複製を禁じます。